

新たに導入した植物の生育 及び開花状況

ハノーバー市植物園より寄贈された植物

世 羅 徹 哉

平成元年10月22日から11月23日までの29日間、広島市政100周年の記念行事として「姉妹友好都市の植物展」が当園で開催された。この植物展の飾り付けのためや、植物園間の交流の一環として、姉妹友好都市の一つである西ドイツ、ハノーバー市の市立植物園から多数の植物を寄贈されたので記録する。

1. フクシアその他

1989年2月16日、フクシア16品種と *Acalypha hispaniolae* 'Bodes Feuerzauber' の挿し穂各3本が届いた。この内下記のフクシア12品種と *Acalypha* は活着し、植物展に展示したが、*Fuchsia Beacon*, *F. Gesäuserperle*, *F. Edelstein*, *F. Vielliebchen* の4品種は活着しなかった。12品種の概要は次のとおりである。

① *Fuchsia Black Prince*

やや直立性の灌木型。葉身は僅かに灰色を帯びた緑色で、中筋が目立つ。多花性。花は一重で大きさ約50×65mm（直径×長さ、以下同じ）。萼は桃赤色、萼片は披針型。花弁は倒三角形、初めはほぼ黒色で、後に濃赤紫色に変わる。*Gruss aus den Bedethal* の異名。1838年、ドイツで作出。

② *F. Deutsche Perle*



F. Deutsche Perle

やや灌木状の直立型。葉身は暗緑色で基部が赤茶色に帯色する。花は一重、大きさ約60×85mm。萼は白色、萼片は披針形でほとんど反転しない。花弁は扇形、朱赤色で縦しわがある。1874年ドイツで作出。

③ *F. Flying Cloud*



F. Flying Cloud

横張り形。茎は堅く、挿し木の場合比較的活着しにくい。葉身は白みがあった鮮緑色で鋸歯が粗い。花は八重で大きさ約90×80mm、全体にわずかに桃色をおびた白色で、萼片は反転しない。強光下で育てると花色が濃くなる。1949年アメリカで作出。

④ *F. Gartenmeister Bonstedt*

F. triphylla 系の交配種で叢生型。葉身は銅赤色を帯びた濃緑色。花は一重、大きさ約28×55mm。萼は桃色がかかった朱色で内側はより淡色。萼片は三角形。花弁は卵状楕円形、朱色がかかった橙色で基部に黒色の小斑点がある。1905年ドイツで作出。



F. Gartenmeister Bonstedt

⑤ *F. Hanna*



F. Hanna

やや直立性の灌木型。葉身は鮮緑色で、中筋はやや赤色を帯びる。茎はよく分枝し、多花性。花は八重で大きさ約60×70mm。萼は鮮やかな桃色、萼片は長楕円形で基部から反転して斜上する。花弁はほぼ方形で白色、基部に鮮桃色の脈がある。ドイツで作出、作出年代は不明。

⑥ F. Koralle

F. triphylla 系交配種。F. Gartenmeister Bonstedt によく似るが、花色がより薄い。

⑦ F. Marinka

横張り型で茎は赤色。葉身は鮮緑色で、葉脈、葉柄とも茎と同色。花は全体濃赤色で、花卉がより濃い。1902年フランスで作出。

⑧ F. Nicola

やや直立性の灌木型。葉身は厚く灰色をおびた濃緑色で、葉脈が凹む。花は一重で大きさ約40×60mm。萼は淡紅色、萼片は卵状楕円形で反転して筒状部を包む。花卉は扇形、濃紫色。1964年イギリスで作出。

⑨ F. Ortenburger Festival

やや直立性の灌木型で茎はよく伸びる。葉身は灰色がかった暗緑色で、縁は波うつ。花は一



F. Ortenburger Festival

重で大きさ約35×65mm。萼の外側は淡桃色内側は乳白色、萼片は長円形で鋭頭、先側半分は少し反転する。花卉は扇形、初め赤紫色で、後に赤味が強くなる。1973年西ドイツで作出。

⑩ F. Rose van den Berg



F. Rose van den Berg

F. Deutsche Perle に似る。葉身は灰色がかった緑褐色で中筋は明瞭。花は一重で大きさ約50×50mm。萼は淡桃色、萼片は少し反転する。花卉は赤紫色で基部は淡色。

⑪ F. Symphony

やや直立性の灌木型。葉身は卵状披針形、鋭先形。縁は鋸歯が粗くやや波うつ。全体淡緑色で中筋は赤い。花は一重で大きさ約50×90mm。

萼はわずかに紫色を帯びた白色。萼片は披針形で基部から反転する。花卉は舌状卵形、初め赤紫色で後に青味がかかる。花は少ない。1944年アメリカで作出。

⑫ F. Tom Thum

やや直立性の灌木型でよく分枝する。葉身は濃緑色で裏面には微毛が多い。花は一重で大きさ約30×30mm。萼は鮮やかな淡紅色、花卉は初め青紫色で後に紫色になる。1850年フランスで作出。

2. セントポーリア

「姉妹友好都市の植物展」、ハノーバー会場

の中心となった「セントポーリアのピラミッド」には常時940鉢のセントポーリアを飾ったが、この内840鉢はハノーバー市植物園から飾り付け用に贈られたものである。これらは1989年7月23日に、直径2～4cmの葉4～5枚の苗の状態が届いた。同植物園からの送状には、気温を20℃以下に保つようにとの助言があったが、栽培場は連日30℃を越える状態であった。このため生育が遅く、会期までに十分な大きさにならなかったため、予定よりも約200鉢多く飾った。寄贈されたセントポーリアの種類およびその特徴を表1に示す。



S. Gina

3. ラン科植物

ハノーバー市植物園は、ヨーロッパで最もラン科植物を多く収集している植物園の一つである。そこで当園との植物交流の一環として、表2に示したようなラン科植物の寄贈を受けた。この内、Disa uniflora は1989年11月18日に送られてきたもので、それ以外は同3日に同植物園長 H.G. Preissel 氏によって持参されたものである。また、Masdevallia coccinea 'Alba' は、1990年2月下旬から開花し、同年3月に当園で行われた世界蘭展記念第3回洋ラン特別展に展示した。

表1. ハノーバー市植物園より寄贈されたセントポーリア

植物名	花色	花弁数	その他
<i>Saintpaulia confusa</i> B.L. Burt	濃青紫	一重	
<i>S. ionantha</i> H. Wendl.	青紫	一重	
<i>S. orbicularis</i> B.L. Burt	淡青紫	一重	わが国で流通しているものより花色が濃い
<i>S. tongwensis</i> B.L. Burt	淡青紫	一重	
<i>S. Bellafi</i>	濃赤紫に白覆輪	半八重	葉は暗緑色で、徒長しやすい
<i>S. Blanca</i>	白	半八重	葉は淡緑色で、強光に弱い
<i>S. Firo</i>	紫紅色	一重	葉は小さく大株にならない
<i>S. Gina</i>	白に青覆輪	半八重	花の様子は変化が多い
<i>S. Heidrun</i>	桃色	一重	葉は淡緑色で強光下で堅くなりやすい
<i>S. Laura</i>	桃色	一重	葉は灰色がかった緑褐色
<i>S. Sabrina</i>	青紫	一重	葉は緑色で、暗褐色の斑紋がモザイク状に入る。花に白色の模様が入ることがある
			葉は鮮緑色で強光下で堅くなりやすい

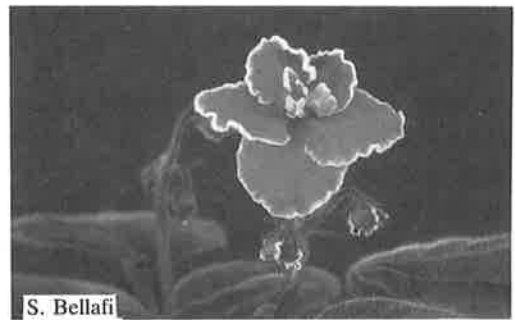


表2. ハノーバー市植物園より寄贈されたラン科植物

植物名	採集地	採集年	採集者
<i>Acineta densa</i> Lindl.	コスタリカ alt. 2200 m (Cerro La Cruz と Pico Blanco の間)	1976年 7月	Horich
<i>Catasetum ochraceum</i> Lindl.	コロンビア	1976年 2月	Hubein
<i>Cattleya warneri</i> T. Moore 'Coerulea'	市販品	(1973年 6月)	
<i>Cattleya intermedia</i> Grah. 'Vincolor'	不明	不明	不明
<i>Gongora ecornuta</i> Jenny	ペルー	不明	Stumpfle
<i>Mendoncella fimbriata</i> (Lindl. et Rchb. f.) Garay	コロンビア alt. 800 m (Choco)	1981年 8月	Hubein
<i>Masdevallia coccinea</i> Lindl. 'Alba'	市販品	(1973年 1月)	
<i>Miltonia roezlii</i> (Rchb. f.) Nicols	市販品	(1972年 4月)	
<i>Miltonia Hannover</i>	市販品	(1965年)	
<i>Sievekingia herrenhusana</i> Jenny	エクアドル alt. 1200 m (Banos), alt. 300 m (Tena)	1982年 3月	Waldvogel

Disa uniflora

採集年の()は導入年